

## 互いに助け合い、仲良く活動できる子どもを育成するための人権教育の実践

はじめに

本校の教育目標は、「たしかな学力をはぐくむ・たすけあう心をそだてる・たくましい体をつくる」である。それを受けて、人権教育では、「(1)互いに助け合い、仲良く活動できる子どもを育成する。(2)公平で人権を尊重する心をもった子どもを育成する。(3)よく考え、自ら学習する子どもを育成する。(4)物事を正しく判断し行動できる子どもを育成する。(5)決まりを守り、最後までねばり強くやり抜く子どもを育成する。(6)自分のめあてをもって体力づくりに励む子どもを育成する。」の6つの目標を掲げている。

本校の児童の多くは、明るく活動的で、素直に自己表現をすることができる。一方で、自己中心的な言動をとったり、友達とうまく関わることができずにトラブルを起こしたりする姿も見られる。そこで、体験的な活動を通して、互いに助け合い、仲良く活動できるようにするための実践を行った。

### I 実践

#### 1 人権週間の取組

##### (1) 人権に関する授業実践

10月の第2週を人権週間として、道徳や学活の時間を活用し、全学級で人権に関する授業を行った。低学年は、「話し方」や「友達のよさ」、中高学年は、「差別」や「いじめ」をテーマとした。発達段階に応じて、授業の展開例や参考資料などを各学級に配付し、授業実践をした。

##### (2) 人権メッセージの作成

「友達について」「いじめや差別について」「困っている人がいたらどうするか」などをテーマに全児童が人権メッセージを書いた。各クラス代表3点を選出し、茨城県人権メッセージに応募することができた。

#### 2 児童会事務局委員の取組

##### (1) 宮田小いじめゼロフォーラムの実施

いじめをなくし、児童一人一人が友達と仲良くし、楽しく元気に学校生活を送ることができるようにするために、いじめゼロフォーラムを実施した。まず、個人でいじめについての行動宣言を行い、次に、各学級でいじめについての行動宣言を行った。最後に、児童会事務局委員が学校全体としてのいじめZEROスローガンを全学級に伝え、意識の啓発を行った。



##### (2) 創立記念集会の実施

宮田小学校の歴史を知り、愛校心を養い、所属感の高揚を図るために創立記念集会を実施した。事前に全児童が宮田小学校のいいところを作文にしたり、ミニメッセージを書いて校章コーラージュを作成したりした。創立記念集会では、児童会事務局委員が宮田小学校に係るクイズを出題したり、各学年代表児童が宮田小学校のいいところや自慢できるところを発表したりするなどしてねらいに迫るアプローチを行った。



### 3 通年の取組

#### (1) あいさつ運動

毎週水曜日に、各学級輪番制であいさつ運動を実施している。また、いばらき教育月間には、卒業生や地域の方々にも参加をいただいた。あいさつ運動を通して、児童に挨拶を交わす心地良さを味わわせたり、相手を想う気持ちを表現させたりしている。



#### (2) ロングタイム昼休み～宮田っ子タイム～

毎週水曜日に45分間の昼休みを設定している。クラス単位での遊びや自由遊びを設定し、同学年だけでなく、他の学年と遊んで交流させるねらいがある。定期的・継続的に実施していることで、高学年の児童が低学年の児童の世話をし、積極的に遊んでいる姿が見られるようになった。

### 4 成果

(1) 児童一人一人の人権意識が高まり、互いに助け合い、仲良く活動ができる児童が増えた。

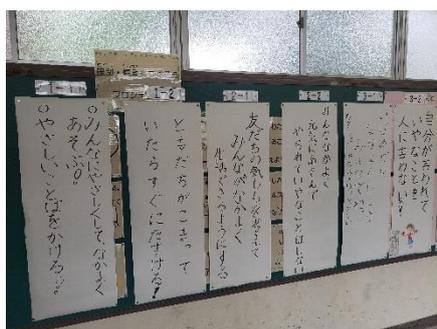
(2) 全校での集会や放送での集会を行うことで、クラスや学校への所属感や一体感が高まり、行事やあいさつ運動等に積極的に取り組む児童が増えた。

## II 今後の課題

○ 道徳の授業実践や人権メッセージ作成の直後には、相手を思いやる行動や言葉かけができる児童が多く見られる。しかし、その行動が持続しなかったり日常生活で実践できなかったりする児童がいる。思いやりのある言動の定着化を図るために、今後も教育活動全体を通して、計画的・継続的に人権意識を高める指導をしていく。

○ あいさつ運動では、元気よく人より先に挨拶ができるが、日常生活になると声が小さく、自分から挨拶ができない児童も見られる。あいさつ運動を継続しながら、児童が主体的に挨拶していくための様々な取組を行っていく。また、道徳、学級活動を充実させ、挨拶の大切さを伝え続けていく。

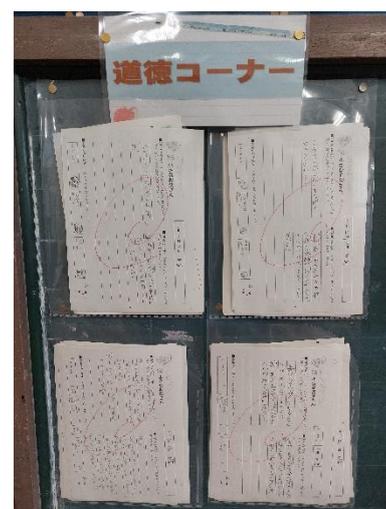
## III 人権コーナーの様子



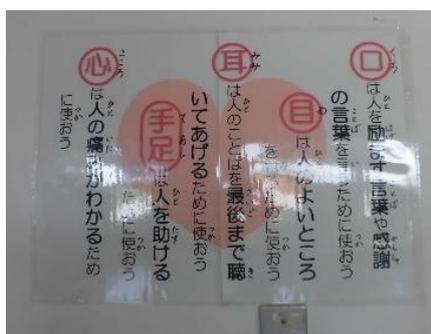
各学級の行動宣言(1)



各学級の行動宣言(2)



道徳コーナー



廊下掲示



校章カラーージュ